

ICTを活用した家庭学習のススメ ～家庭と学校の学びをつなぐ～

教師の悩み

授業の時間が45(50)分では
足りない…

- それぞれの時間を十分確保することに困難を感じる場合がある
- ・個々の問題意識を高める
 - ・自分の考えをもたせる
 - ・話し合いや意見交流で学びを深める
 - ・学びを振り返る
- など

宿題を学力向上に
どう生かそうか…

- 令和3年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙
- ・平日の学習時間が1時間以上 ()内は全国比
小学校64.5 (+2.0) 中学校80.2 (+4.3)
 - ・休日の学習時間が2時間以上
小学校27.3 (-2.4) 中学校61.8 (+8.3)

児童生徒の思い

授業中にもう少し
話し合いをしたかったな…

授業中活躍したいな…

宿題があるから
勉強しなくちゃ…

家で勉強する
やる気が出ないな…

社会のニーズ

家庭における学習環境の差への対応

授業と家庭学習のつながりを見直すことで、学びの質を高めましょう

ICTを活用した家庭学習のススメ ～家庭と学校の学びをつなぐ～



授業と家庭の学びの連携を深めることで、授業時間を最大限に充実させましょう

従来の授業と
家庭学習のイメージ

授業と家庭の学びの連携を深めるイメージ

学校

思考力・判断力・表現力等に関わる学習活動

知識及び技能に関わる学習活動

家庭

ICT活用

ICT活用

復習型

予習型

授業での学びを深める・広げる

次の授業の充実に向けて準備する

<活動例>

- ・ **デジタルドリル**で個に応じた問題練習を行う
- ・ 授業中に記録した**動画や写真**を確認する
- ・ **デジタル教材**を見ながら練習をする
- ・ 授業で学んだ内容に関わる**情報を調べる**
- ・ 授業を振り返り、**学習データを蓄積する**

<活動例>

- ・ 授業で必要となる**情報を調べる**【別紙1】
- ・ 授業で使う**動画や写真を撮影**する【別紙1】
- ・ 次時に追究する問題を解いて**ノートの画像を提出**する【別紙2】
- ・ 資料を読み、自分の考えや立場を**アンケートフォームで回答**する【別紙2】
- ・ **動画教材**で学ぶ【別紙3】

問題練習

反復練習

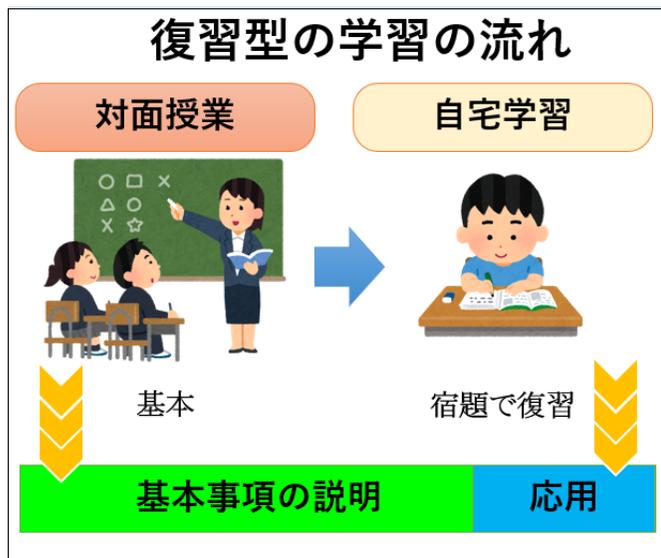


家庭学習も含めて、授業の計画を立てることが大切です

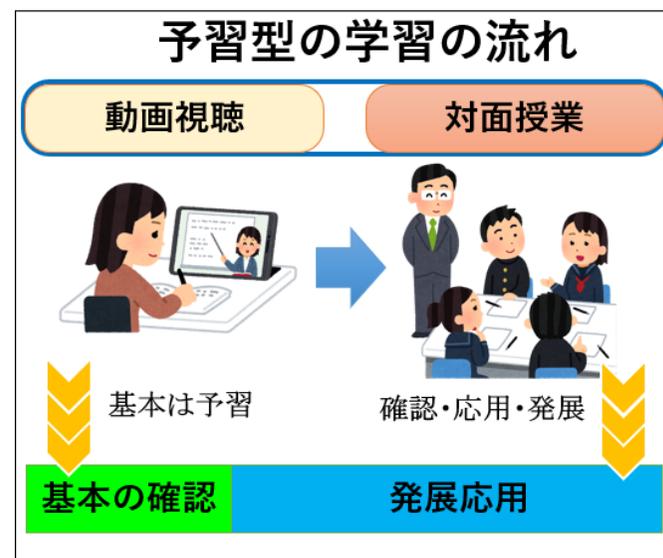


ICTを活用した家庭学習のススメ ～家庭と学校の学びをつなぐ～

1. 復習型と予習型 「ICTの活用」と「学習過程の工夫」により、個別最適な学びと協働的な学びのより一体的な充実を図ります。



学びの「時間」と「空間」(教室・家庭)を組み換える



2. 予習型の学習効果

学習者

- より自立的な学習者として成長することができる。
- 各自のペースで理解度に応じて取り組める。
- 自己の学びを調整する力が身に付けられる。
- 知識・技能の定着を高められる。
- じっくりと思考することができる。
- 他者と課題を解決することに対する体験値を上げることができる
- コミュニケーション能力を高められる。
- 家庭での学習習慣を確立しやすくなる。

学力向上



個別最適な学び
協働的な学びの一層の充実

各教科等の学びの本質に迫る
思考力・判断力・表現力等を
発揮する学習活動の充実

指導者

- 授業のねらいの達成に向けて、時間をかけたい中心的な学習活動を充実させることができる。
(知識・技能等の習得に大きく授業時間を割く必要が減る)
 - 学習者に対して、思考・判断・表現をさせる時間を確保することができる。
 - 個別・協働・一斉の学習形態を織り交ぜたり、組み合わせたりしやすくなる。
 - 個別支援・指導の充実につなげられる。
- ※家庭の状況等によっては、自宅学習に取り組めない子もいることに配慮する。

ICTを活用した家庭学習のススメ ～家庭と学校の学びをつなぐ～

予習型の例①

家庭学習で情報収集して授業とつなげる

小学校 第3学年【書くこと】
『気になる記号』

【単元の課題】
文章の構成の特徴に着目して、身の周りの気になる記号を報告する文章を書こう。

【ねらい】
単元全体を振り返る活動を通して、報告文を書くときに気を付けることが理解できるようにする。

1 本時のめあてをつかむ。
● 本時のめあては単元全体を振り返ることだと確認する。
● 本単元では、身の周りにおける気になる記号について調べ、家の人に報告する文章を書いてきたことを振り返らせる。

報告する文章を書くとき、どのようなことに気を付けましたか？

【めあて】
単元全体を振り返って、報告する文章を書くときに気を付けることをまとめよう。

2 単元で学んだことを確認する。
● 互いの文章を読み合い、自分の書き方と比較しながら、「工夫が分かる点」「参考にしたい点」を付箋紙に書き、3～4人のグループで交流させる。

● ノートや振り返りの記録、完成した報告書をもとに、報告する文章を書くときに気を付けたことを思い出させる。

○報告文の組立て
①調べたきっかけや理由
②調べ方
③調べて分かったこと
④感想

3 学んだことを一般化して理解する。
● これから報告する文章を書くとき、今回学んだことがどのように生かせるか、意見を共有させる。

報告する文章を書くときには、調べて分かったことだけでなく、調べた理由や調べ方も書く。

調べたことをカードに記録して、比べたり種類分けをしたりして、伝えたいことをはっきりさせる。

● 他のどのような場面で、今回の学習が活用できるか考えさせ、共有させる。

社会科でスーパーマーケット見学がある。見学したことをまとめるとき、報告文の形が使えそう。

「野菜作り」の記録も、報告文にまとめると分かりやすいよね。夏休みの自由研究のまとめにも使えそう。

4 単元全体の振り返りをする。
● 一般化したことを踏まえながら、単元を通して学んだことや感じたことを自分の言葉でノートにまとめさせる。

● 報告する文章の組立てが分かったので、これからも報告文を書くときは組立てに気を付けて書きたい。
● 山田さんの報告文は、おばあさんのことを考えて記号の説明が書いてあって、おばあさんが喜ぶと思った。
● 夏休みの自由研究のまとめを、報告文の形で書いてみようと思った。

一部分の学習活動を家庭で

例. はばプラⅡ 国語科「まとめる」過程

<情報収集する活動の例：調べる、記録する等>

- ・国語 読む活動をビデオ機能で録画する
- ・生活 身の回りの気付きに関わる事象や自然を動画や写真に納める
- ・社会 問題解決に必要な資料をインターネットで収集する
- ・数学 統計的なデータをインターネットで収集する など

共有フォルダなどに保存された友人の文章の中から、振り返りの観点に沿って、文章の構成に関わる**言語活動の材料を集める学習**を、家庭で行います。

家庭学習の情報収集する活動を授業につなぐと…

<学習意欲の向上>

自分のペースで、自分に必要な材料を吟味しながら収集できるため、思いをもって授業に臨ませることがができます。

<スムーズな導入>

家庭学習で本時の学習活動に必要な材料を集めさせているため、めあての設定後、すぐにねらいに迫るための活動に入らせることができます。

<学びを深める活動の充実>

材料の収集に関わる時間を軽減できるため、考えを形成したり、表現したり、対話したりする活動を重点的に行うことができます。

家庭学習と授業の学びをつなげるために…

ポイント
単元の課題（単元のゴール）を明確にして、次時の学習と必要な材料を児童生徒と共有することにより、家庭で行う学習の見通しをもたせます。

予習型の例②

家庭学習で問題を解いて授業とつなげる

例. はばプラⅡ算数・数学科「追究する」過程

1 学習を把握し、めあてを設定する。

【問題】
 $3x + 4x$

答えはいくつになりますか？

問いの表出
「 $7x$? $7x^2$?」
整数の時はどう考えたのかな?

【めあて】
数の計算と同じようにxの入った計算ができないだろうか？

● 解決の見通しをもつ。
「 $3x$ や $4x$ を具体的に表すとどうなりますか？」
x円のリンゴを3個買った代金が $3x$ と表せたと思います。
それぞれの場面では $3x + 4x$ は何を表すのでしょうか？計算できるのか考えてみましょう。
縦がx、横が3の長方形の面積も $3x$ と表せたと思います。

前時
本時

2 めあてを追究する。

(1) 個別に追究し、考えを全体で共有する。

$3x + 4x = 7x$

縦が同じなので、一つの長方形になって $7x$ です！
 $3 \times x + 4 \times x = 7 \times x$

リンゴで考えても、x円のリンゴが7個になるので $7x$ です！xがいくつあるかだから、2乗にはなりません。

授業の導入で扱う問題を家庭で

(2) 考えを深める。

● $3x + 4x$ の解決方法を基に $3x + 5 + 4x + 2$ の解決方法を考え、それとを比較・検討する。

では、 $3x + 5 + 4x + 2$ はどうなると思いますか？

「 $14x$? $7x + 7$?」

3x 5

そうか！値段のはっきりしないx円とはっきりしている5円も足せないと思います。
2つの長方形の縦の長さが違うので、きれいに近づられないから1つにまとめることはできません。

まとめられるかどうかは、どこで判断すればよいでしょうか？

3 学習をまとめる。

【まとめ】
● xの項同士でまとめることができる。
● xの項と数だけの項はまとめられない。
● 同じ項同士（同項）でまとめられる。
(同項の項は併け加)

4 学習を振り返り、適用問題に取り組む。

【適用問題】 $3x + 5 + 4x + 2$ を面積図に表してみよう。

【練習問題】① $7x - 5x$ ② $4y - 4y$
③ $2x + 5x$ ④ $7x + 5x$

同類項なら足せることが分かったけど、かけ算も係数同士をかければ求められるのかな？

1 学習を把握し、めあてを設定する。

● 児童生徒の視点から、問題や問題場面にかかわる問いを見いださせる。
● 活用できそうな既習の知識及び技能、考え方がないか問いかける。
● 本時の学習の方向を焦点化したものを「めあて」として設定する。

【めあて】
● 既習事項と関連付けさせながら解決方法や結果の見通しをもたせる。

<問題を解く活動の例>

- ・社会 調べた情報を整理して自分の考えをもち、プレゼンソフト等で表現する
- ・算数・数学 自分なりの解決方法をノートに示し、画像に撮影して提出する
- ・理科 実験動画を視聴し、その結果などを表計算ソフト等で整理・分析する
- ・道徳 資料を読み、自分の考えや立場をアンケートフォームで回答する など

自分なりの解決方法を考え、
プレゼンソフト等で表現する学習活動を家庭学習で行います。

家庭学習の問題を解く活動を授業につなぐと…

<考えの取り上げ方の事前検討>
協働学習ツールの活用により、授業を始める前に一人一人の考えを把握することが可能になり、考えを深めるための構想を練ることができます。

<比較・検討する活動の充実>
自らの考えをしっかりとさせた上で伝え合う活動を行えるため、協働的な学びを促進し、思考力や表現力の育成を図ることができます。

<学びのつながりの重視>
単位時間内に本時の学びをもとにした問いを検討できるため、問題発見能力を育成するとともに、学習内容のつながりを意識化できます。

家庭学習と授業の学びをつなげるために…

ポイント

「振り返り」をもとに次の問いを表出させ、
家庭学習と次時において追究する問題やめあてを設定します。

ICTの活用により、児童生徒の問題意識が家庭学習、
次時までつながるようにします。

これまでの一時間の授業

予習型の例③

家庭学習で知識や技能にふれて授業とつなげる

例. はばプラⅡ算数・数学科「追究する」過程

1 学習を把握し、めあてを設定する。

【問題】
 $3x + 4x$

答えはいくつになると思いますか？

問いの表出
7x? $7x^2$?
整数の時はどう考えたのかな？

【めあて】
数の計算と同じようにxの入った計算ができないだろうか？

● 解決の見通しをもつ。
3xや4xを具体的に表すとどうなりますか？
それぞれの場面では $3x + 4x$ は何を表すのでしょうか？計算できるのか考えてみましょう。

x円のリンゴを3個買った代金が3xと表せたと思います。
縦がx、横が3の長方形の面積も3xと表せたと思います。

前時
本時

家庭

2 めあてを追究する。

(1)個別に追究し、考えを全体で共有する。

$3x + 4x = 7x$

縦が同じなので、一つの長方形になって7xです！
 $3 \times 3 + 4 \times 3 = 7 \times 3$

リンゴで考えても、x円のリンゴが7個になるので7xです！xがいくつあるかだから、2乗にはなりません。

本時の知識や技能に
事前に家庭でふれる

(2)考えを深める。

$3x + 4x$ の解決方法を基に $3x + 5 + 4x + 2$ の解決方法を考え、それぞれを比較・検討する。

では、 $3x + 5 + 4x + 2$ はどうなると思いますか？

14? $7x + 7$? $3x$ 5

そうか！1段のはっきりしないx円とはっきりしている5円も足せないと思います。
2つの長方形の縦の長さが違うので、きれいに近づられないから1つにまとめられないとできません。

まとめられるかどうかは、どこで判断すればよいでしょうか？

3 学習をまとめる。

【まとめ】
● xの項同士でまとめることができる。
● xの項と数だけの項はまとまらない。
● 同じ項同士（同項）でまとめる。（同項の項は併記）

4 学習を振り返り、適用問題に取り組む。

【適用問題】 $3x + 5 + 2x$ を図構図に表してみよう。

【練習問題】① $7x - 5x$ ② $4y - 4y$

同類項なら足せることが分かったけど、かけ算も係数同士をかければ求められるのかな？

1 学習を把握し、めあてを設定する。

● 児童生徒の視点から、問題や問題場面にかかわる問いを見いださせる。
● 活用できそうな既習の知識及び技能、考え方がないか問いかける。
● 本時の学習の方向を焦点化したものを「めあて」として設定する。

【めあて】
● 既習事項と関連付けさせながら解決方法や結果の見通しをもたせる。

<知識・技能にふれる活動の例>

- ・教師が作成、配信した動画教材を活用して、家庭学習を行う。
- ・オンデマンド教材を活用して家庭学習を行う。
- ・ドリル教材やデジタル教科書等を活用して家庭学習を行う。 など

動画教材を用いて知識や技能を予習する学習活動を家庭学習で行い、教師はドリル教材やノートの画像提出等によりその定着度を確認します。

家庭学習の授業動画を用いた活動を授業につなぐと…

<個に応じた学びの充実>
動画を止める、繰り返し視聴するなど、自分のペースで知識・技能の定着に向けた学習を行うことができるため、問題意識を明確にして授業に臨むことができます。

<学び方の多様化>
授業中の基礎・基本の定着に向けた学習活動では、「教師と」「友人と」「授業動画で」等、多様な方法から選択して学ぶことができます。

<思考力、判断力、表現力等の育成>
授業中の知識や技能に関わる学習時間を軽減し、ディスカッションや発展的な問題の解決等の活動を充実させることができます。

家庭学習と授業の学びをつなげるために… **ポイント**

指導計画は、授業の計画と家庭学習の計画を関連付けて作成します。

児童生徒が動画を視聴して学べるよう、事前指導を充実します。

学習データや導入部での確認テストなどを活用し、家庭学習の定着状況を把握した上で授業を進めることが大切になります。

これまでの一時間の授業